

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市西市民プラザ			
指定管理者	特定非営利活動法人まちづくりサポートクラブ			
設置目的	市民、団体の多様な交流と市民活動等による社会参加の促進を図り、もって魅力ある地域社会の発展に寄与するため。			
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日	
所管課	市民環境部 人権啓発・地域づくり室 市民協働推進課			

2 利用状況等の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用者数(人)	82,340	48,628	52,693	55,258	57,882
利用料金(円)	6,954,675	4,481,410	4,242,990	4,644,142	4,753,075
指定管理料(円)	25,870,000	28,057,000	25,870,000	28,885,000	28,057,000

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
利用人数	10 万人以上	10 万人	57,822 人	57%
平均稼働率	25%以上	25%	24.9%	99%
自主事業の実施件数	24 件以上	100 回	95 回	95%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	4,753,075	人件費	20,026,197
指定管理料	28,057,000	維持管理費	16,065,657
事業収入	711,700	事業費	0
その他	881,876	その他	0
合計	34,403,651	合計	36,091,854
差額			△1,688,203

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	平均稼働率及び自主事業の実施件数は、ほぼ年間目標に達した。一方で、利用人数増加のため、新たに自主事業を実施したものの、定期利用者の減少等により利用人数の目標達成には繋がらなかった。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	施設を会場とする田辺城まつりや夜の市といった大きなイベントの 4 年ぶりの開催、他団体が連携するふれあい広場の飾りつけ、新たに自主事業として開始した西プラバザール、西プラ de 勉強会及びサロンにこにこ等を通じて幅広い世代の市民の交流を図る等施設の設置目的に沿った運営が行われた。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	子育て支援事業や FM まいづるとの共催事業に取り組む等によりネットワークの強化を図るとともに、行政、企業、地域団体等地域人材の中間支援に取り組まれた。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	◎	実施予定であった自主事業のうち幽斉塾等は実施できなかったものの、西プラバザール、西プラ de 勉強会、サロンにこにこ等新たに自主事業を計画し、実施された。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	コロナ禍前に比べると 7 割程度の利用者数ではあるものの、令和 4 年度に比べ利用人数及び平均稼働率とも微増ではあるが増加した。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	利用者へのアンケートでは、概ね満足されている旨の結果が得られている。

利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	利用者の意見・要望・苦情などを窓口や電話等で把握し、職員間で共有され、適切な対応をされている。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	駐車場不足、備品の老朽化等指定管理者だけではすぐに解決できない問題もあるが、令和5年度以前からの要望については予算を確保するなど次年度への検討をされている。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	利用者への使用後の消灯徹底等節電の呼びかけ及び職員のD I Yによる修理等経費削減に努力された。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	数社から見積もりを入手し業者を選定する等取り組まれた。
収入増加のための取組が行われたか	○	これまでから取り組まれている自主事業を継続して実施するとともに、新たに自主事業を計画及び実施し、収入増加の取組が行われた。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	業務に応じた適切な人員配置が行われている。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	これまでから定期的に職員研修を行う等、職員能力の向上に努めている。
施設の平等な利用が行われたか	○	適切に行われていた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
情報の公開が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
収支状況や会計処理が適切か	△	新たな自主事業を実施する等収入増加に努められたが、人件費の増加等により、マイナス収支となった。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
危機管理、安全対策などは十分か	○	想定される災害等に対しマニュアルを作成しているほか、年2回防災訓練を実施されている。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適切に行われていた。
(5) その他コメント		
サービス向上	これまでから季節ごとにふれあい広場をデコレーションする等市民が立ち寄る雰囲気作りに努めているほか、新たに自主事業を計画及び実施し、利用者の増加や幅広い世代の市民の交流を図る等施設の設置目的に沿った運営に取り組まれた。職員の服装や接客態度も良好である。	
経費削減	利用者への使用後の消灯徹底等節電の呼びかけ及び職員のD I Yによる修理等経費削減に努力している。	
施設の維持・管理	施設は常日頃から清掃等行き届いておりとても清潔に保たれている。老朽化により空調等施設の不具合が発生しているが、問題個所の発見に努め、市と連絡を取り合っている。簡易な修繕は、D I Yで職員が実施している。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	2.25 点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	利用人数が市設定目標に対して少なすぎる。 立派な施設を活用できていない。 運営を根本から考えてほしい。 指定管理施設であるべきかどうか検討も必要ではないか。	

《参考》 過年度の評価点

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均
3.33 点	3.16 点	2.8 点	2.66 点	2.98 点